

顔の見える木材での快適空間づくり事業

事業実施主体

上川地域水平連携協議会

実施体制・連携グループ

- 実施主体：上川地域水平連携協議会
(事務局：(一社)北海道林産技術普及協会)
林業・木材産業関係者と住宅産業関係者が連携
国産材を使った住宅づくりの普及を推進
- 連携機関①：道総研林産試験場：防耐火性能・耐久性能に関する指導
- 連携機関②：(一社)北海道ビルダーズ協会
- 連携機関③：(一社)北海道建築技術協会
建築物の設計・施工サイドからの助言
- 連携機関④：(株)ハギヤ：展示会実施支援

【テーマ】トドマツ厚板による防耐火構造外壁の普及

背景と目的

【背景】

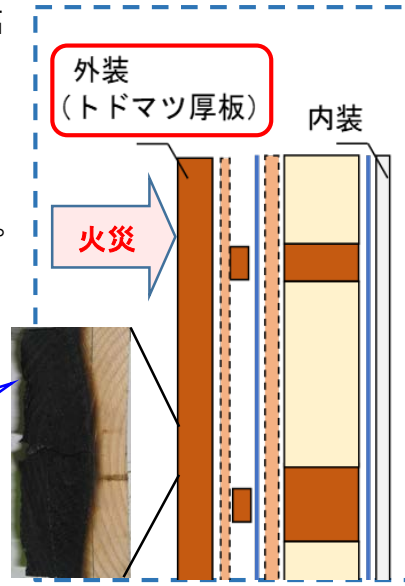
- ・都市部の建築物の外壁は、高い防耐火性能が必要。
- ・大径丸太から得られる板厚で幅広い製材を用いることで、難燃薬剤や無機材料に頼らず所定の防耐火性能を付与。

【目的】

- ・防耐火規制に対応する「**トドマツ厚板張り防耐火外壁**」の普及。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- 大径のA材丸太から得られる板厚・幅広い製材を外壁外装材に用いる。
- 難燃薬剤や無機材料を用いずに、都市部の建築物に求められる防耐火性能を付与する。
- 相じゃくり、本実、鎧張り、表面ラフ仕上げ等、多様なデザインを可能とする。
- 省令準耐火構造の基準を満たし、火災保険料率が軽減する。



厚板の60分燃焼後の断面
厚い炭化層は断熱材として働き、
燃え抜け防止、遮熱性向上に有効

事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①事業検討会の開催
- ②防耐火構造外壁の性能実証
壁用燃焼試験装置を用いて厚板張り外壁の防耐火性能を実証する。
- ③首都圏での展示会
防耐火規制が厳しい都市部での活用促進に向け、不動産・設計・建築等の関係者を対象とする情報発信を行う。
・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度木材製品展示会
・WOODコレクション(モクコレ)
- ④技術資料の作成
防耐火に関する技術項目や規定類、仕様などを整理した建築関係者向け技術資料を作成する。
項目概要：外壁構造に対する防耐火規制のあらまし
トドマツ厚板張り防耐火構造外壁の仕様
外装木材の維持管理技術、など

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

検討会

防耐火性能実証

展示会

技術資料作成

展示会

検討会・まとめ